

令和3年度第2回葉山町環境審議会議事録

日時：令和3年10月21日（木）13時30分から15時30分まで

場所：葉山町役場3階 協議会室1

出席者

（会 長）原科 幸彦

（副会長）加藤 清

（委 員）錦澤 滋雄、矢板 千英子、三井 修、相馬 立夫、石井 春夫、
角田 正美

（事務局）高梨 敦、行谷 修、臼井 秀昭、糸賀 朋之、大屋 敦彦

審議事項

- （1）第1回議事録について
- （2）葉山町環境基本計画の改定について
- （3）その他

原科会長

定刻ですので、令和3年度第2回環境審議会を開催いたします。コロナウイルスもだいぶ収まってきた印象ですが、感染対策をしながら審議会を始めましょう。では、最初に事務局からお願いします。

行谷課長

本日の出席委員の方は全委員8名の方に出席をいただいております。コロナウイルス対策として、葉山町では2時間に1度換気をおこなっています。本日も14時半頃を目安に1度休憩をとり、換気をおこないますのでご協力をお願いします。事務局からは以上です。

原科会長

8名全員の出席ですので、会議が成立していることを報告させていただきます。次に事務局より配布資料の確認をお願いします。

行谷課長

それでは、資料の確認を行います。

【配布資料】

- ・令和3年度第2回葉山町環境審議会次第
- ・第1回環境審議会議事録
- ・資料1 令和3年度第2回環境審議会
- ・資料2 葉山町環境基本計画 レイアウトイメージ（案）

- ・資料3 令和2年度 はやまの環境
- ・資料4 総合計画基本目標の抜粋ページ

過不足がございましたら事務局までお願いします。また、本日配布しました前回の議事録ですが、皆様からの修正意見を反映させたものとなります。本日お持ち帰りいただき、修正箇所があれば来週中にご連絡をお願いします。特にご意見が無ければ来週末にホームページに公開をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

原科会長

それでは、葉山町環境基本計画の改定についてです。資料の説明を事務局からお願いします。

大屋主事

資料1～4、まとめて説明させていただきます。本日の審議会では、資料1に記載のある「“望ましい環境像”の検討」・「基本目標 項目の検討」・「基本目標の検討」をご審議いただき、最終決定をしたいと思っております。

次に資料2です。環境基本計画のレイアウトイメージ（案）として作成させていただきました。今回の環境基本計画は、コンパクトにするという方針がありますので、前回の審議会の意見を反映し、具体的にページ数を減らしたレイアウトイメージ（案）を作成しています。

《レイアウトイメージ（案）の説明》

次回の審議会開催の前には「環境基本計画素案（案）」を事前送付させていただき、第3回環境審議会でご意見を頂戴したいと思っております。

次に資料3「はやまの環境」ですが、毎年更新している環境白書となります。今後は環境基本計画のホームページと合わせて同列に掲載し、時系列で追えるようにしたいと考えております。

最後に資料4、今年の3月に改訂された「第4次葉山町総合計画後期基本計画」の環境課が所管している部分を抜粋したものです。

原科会長

ありがとうございました。それでは資料1を使い審議に入ります。「“望ましい環境像”」についてですが、新たな目標（案）の「協調・共生」について、焦点を絞るために「共生」としてはどうでしょうか。

大屋主事

「共生」だけでもよいと思います。

加藤委員

「協調」については、他の部分でも出てくると思うので、「共生」でよいと思います。

原科会長

では、新たな目標（案）については、「地球上の人々と共生する持続可能な社会に向けて、豊かな自然と調和した安全で快適な生活を実現するまち」でいきましょう。SDGs のキーワードも入りました。

《満場一致》

原科会長

次に基本目標の項目の検討ですが、いかがでしょうか。

三井委員

「はやま気候非常事態宣言」をした時から「脱炭素」についてはありました。「省エネ・再エネ」について町の取組みは何をされていますか。

大屋主事

「省エネ」に関しましては、役場庁舎内の電気や道路河川課が所管している街路灯を LED 化しています。公用車もハイブリッド車や電気自動車等に少しずつですが変更しております。「再エネ」については、ソーラーパネル等のハード面での投資が耐震などの問題で難しいのですが、来年2月に役場庁舎等の電力契約の更新時期となることもあり、まだ確定ではありませんが、再生可能エネルギー由来の電力会社と契約変更をする予定です。そうすることで、14 の町有施設から電気の使用による二酸化炭素が出なくなることとなります。

原科会長

パワーシフトですね。

三井委員

電気自動車の充電は通常のコンセントですか？

大屋主事

現在は庁舎内の電力を使用し充電していますので通常電力ですが、こちらも来年2月には再生可能エネルギー由来の電力に切り替わる予定です。

原科会長

再生可能エネルギー由来の電力へパワーシフトするとはすばらしいことです。私が学長を務める千葉商科大学も2019年に太陽光だけでは賄えない夜の電力などを、風力やバイオマス発電

による再エネ電力にパワーシフトしましたが、調達電力を再エネ 100%にしたのは国内の大学で第1号でした。

では次に、基本目標の項目「自然環境」の表現ですが「みどり・生き物」の「みどり」とは植物のことで、「生き物」とは動物のことでしょうか。「みどり」とは幅広い意味がありますね。

大屋主事

中学生へのアンケートの集計でも「海」という言葉がたくさん出てきた中で、「海」という表現が無いのはどうかと思い、前回の審議会で発言させていただいたところ、「海と山・生き物」にしてはどうかと皆様からご意見いただいたところです。

加藤委員

「みどり」というと「山」だけのイメージになりますが、葉山は「海」に面していることもあり、「海と山」の方が望ましいと思います。

原科会長

昔の環境問題の議論では、「みどり・あお」＝「山・海」と表現したりしていましたが最近ではあまりしなないですね。そういった意味では「海と山」はいいと思います。「生き物」だと「動物・植物」を指しますでしょうか。

矢板委員

こちらの項目に「土地利用」が入ると思うのですが、以前は「自然環境」の中で土地の利用を大きく見ていたと思いますが、「海と山・生き物」となったときに事業者にお願いする事業のところ、例えば町づくりの部分等がイメージできるのかと心配になりました。

大屋主事

ご指摘ありがとうございます。「土地利用」もそうですが、以前相馬委員よりお話のあった「グリーンインフラ」もこちらの項目に入ります。そうした意味では「自然環境」のままでもよいのかもしれませんが、その辺をご審議願います。

矢板委員

「くらし」の項目に「土地利用」は近いのかもしれませんが。

大屋主事

新計画の目標の項目が決まり次第、柔軟に施策体系の振り直しを行いたいと思います。

矢板委員

わかりました。「脱炭素」も項目立てされますし、現行の基本計画の施策のカテゴライズも見直しされるということで理解しました。

原科会長

人工的なものは「暮らし」とし、自然なものについては「海と山・生き物」に分類する方がよいかもかもしれません。

矢板委員

その方が町民感覚に近いのかなと思います。

錦澤委員

葉山らしさで考えると「海と山・生き物」がよいと思います。「土地利用」は「暮らし」の中に入れるのでよいのではないのでしょうか。

もう1点、前会の議論でそうなったのか、経緯が不明ですが、①～⑤の項目の順番ですが、「脱炭素」は環境で重要な部分なのでこのままで①でよいと思いますが、「資源・ごみ」が②にくるのは何か意味があるのでしょうか。

行谷課長

順番については、神奈川県の基本計画を参考とさせていただいております。特に頭出ししたいからという意味の順番ではありません。

錦澤委員

「脱炭素」、「みどり」の問題もかなり重要と思いました。「協働」はこのまま⑤が自然だと思います。「海と山・生き物」「資源・ごみ」の順番を入れ替えてはどうでしょうか。

原科会長

では、項目についてですが、「①脱炭素」「②海と山・生き物」「③暮らし」「④資源・ごみ」「⑤協働」この順番がよいですね。ここまでは決定としましょう。

《満場一致》

原科会長

次にコンパクトにするという部分で、資料3「はやまの環境」を毎年更新し、葉山の現状を調べた結果を見てもらうようにするなら、環境基本計画のどこかに明記しないといけませんね。

大屋主事

ありがとうございます。そのようにいたします。

相馬委員

質問になりますが熱海で造成した土地が崩れたこともありまして、「防災」はこの項目には

いますか。

大屋主事

環境計画としては、「暮らし」になると思います。「はやま気候非常事態宣言」も気候危機による災害に備えるための宣言という側面もあるので、「暮らし」の部分で「防災」について言及してもよいかと考えています。

相馬委員

災害廃棄物の視点でみると「資源・ごみ」ですし、土地とみると「暮らし」となると思うのですが。

大屋主事

災害廃棄物については、「災害廃棄物処理基本計画」も策定予定ですので、そういう部分は第1章の計画の関連性の部分に載せて、個別具体的な話はそちらで補完できればと思います。

原科会長

では次に、基本目標の「①脱炭素」です。省エネ・再エネのキーワードだけではなく、調達するものや通勤も脱炭素になっているなど、何か+αがある標語の方がよいですね。ただ、脱炭素の物を調達するというのはなかなか難しい部分もあると思います。まずは調達以外の脱炭素をしっかりとやっていきましょう。

次に、基本目標の「②資源・ごみ」ですが、これについて葉山町はずっと取り組んで来ているので、この表現でよいと思います。問題ないと思います。

《満場一致》

原科会長

では、次に基本目標「③暮らし」に「安全」というキーワードを入れるのはどうでしょうか。

大屋主事

相馬委員の防災の意見もありましたので、「安全」というキーワードを入れた方がよいのかなと思っていましたところですが。

相馬委員

グリーンインフラや防災は視点によって「②資源・ごみ」・「③暮らし」とどちらにも関わると思いますが、どこの項目に入るのでしょうか。

矢板委員

県の目線でいくと、防災部分に環境面からアプローチをすることもありますが、あま

り入れ込むと広げすぎてしまい、環境基本計画の視点がブレてしまうのではないかと思います。環境基本計画での安全と、防災部局での危機管理等の安全との調和を取るのが難しいのではないかと思います。環境アプローチをもって水質を良くする、大気を良くするという事で安心して暮らせる町づくりということはあると思いますが、熱海の土石流は開発行為にあたります。そうなる町単体というより、県の土木事務所も関わる話となってくるので、アプローチも評価も難しいのではないかと思います。その部分を線引きできるようにした方がよいと思います。

原科会長

あえて、きちんと線引きしない方がよいという考えもあります。縦割りすぎるのも生活者からすると困りますね。

矢板委員

「安全」の所を施策としてどこの部分を当てはめていけるかというのは検討した方がよいと思います。

原科会長

表現が難しいですね。

矢板委員

「安全」と言っても交通の面であったり、工業的な部分など色々あると思います。

原科会長

工場公害、放射能汚染などの「安全」は環境でよいと思います。「安全」とは広いですね。どのようにしたらよいでしょうか。

矢板委員

私は既存目標の表現のままでもよいと思います。グリーンインフラも当然こちらに入ってくると思います。有害鳥獣も環境面からのアプローチとして対策を取り、安全な暮らしに繋げる、ということもありますよね。

相馬委員

「安全」についてどこのカテゴリーに入ってもよいと思いますが、漏れないことが重要だと思います。

原科会長

では、細かい部分は施策内容としてブレイクダウンさせるということで、ここではこのままで行きましょう。

《満場一致》

原科会長

次に基本目標の「④海と山・生き物」についてです。いかがでしょうか。

三井委員

「海と山・生き物」について、「生き物」と言うとみなさん動物だけをイメージしがちです。植物も含めてイメージできるような表現にしてはどうでしょうか。

大屋主事

「生き物」を「生物多様性」や「動植物」という表現にしてはどうでしょうか。

原科会長

「海と山の自然」という表現はどうでしょう。

矢板委員

1点確認ですが、この環境基本計画は生物多様性計画としても位置付けるのでしょうか。

大屋主事

町には「生物多様性計画」が無いので位置づけについては、この場ですぐにお答えすることが難しいです。

矢板委員

これを「生物多様性計画」に位置付けるには足りなさすぎるし、「多様性」という言葉をもし使うとしたら、そちらの方になってしまうのではと思います。

原科会長

では、「海と山のいのち」と表現するのはどうでしょうか。

《満場一致》

原科会長

次は、基本目標の「⑤協働」です。

三井委員

「協働」の意味は何が協働するということになりますでしょうか。

大屋主事

官・民だけではなく、民・民も含めた多様な主体の「協働」と前回の審議会で整理しましたので、そう思っただけだと思います。

錦澤委員

協働と連携は重複している感覚があるので、連携を削除して「多様な主体」や「様々な」というフレーズを入れた方がよいと思います。

原科会長

環境学習の要素を入れて、「様々な主体が学びあい、協働で進める環境保全」はどうでしょうか？

三井委員

そうすると、項目を「⑤協働」というよりは、「⑤学びあいと協働」とすれば表現が柔らかくなるような気がします。

原科会長

確かに「協働」だけではアクションが取りづらいので、項目を「⑤学びあいと協働」に変更をして、中身は「様々な主体が学びあい、協働で進める環境保全」ということでよろしいでしょうか。

《満場一致》

原科会長

それでは本日審議した内容の確認を行いましょう。お願いします。

大屋主事

ご審議ありがとうございました。本日資料1を使いご審議いただいた内容を確認させていただきます。

● “望ましい環境像”

地球上の人々と共生する持続可能な社会に向けて、豊かな自然と調和した安全で快適な生活を実現するまち

● 基本目標

① 脱炭素

脱炭素社会の実現に向け省エネ・再エネに取り組むまちづくり

② 海と山のいのち

人と自然が調和する健全な自然環境の保全

③くらし

健康に暮らせる良好な生活環境の保全と潤いと安らぎのある快適な環境づくり

④資源・ごみ

ゼロ・ウェイスト社会を目指す循環型のまちづくり

⑤学びあいと協働

様々な主体が学びあい協働で進める環境保全

基本目標「①脱炭素」の標語については、原科会長より「調達」についてももう少し検討の余地があるのではないかとのご意見がありましたので、事務局の方で再度検討したいと思います。

また、本日ご審議頂いた内容を踏まえまして、環境基本計画素案（案）を次回の審議会までに準備したいと思います。本日の審議内容としてはここまででしたが、時間もありますので資料2のレイアウトについて意見があればお願いします。

行谷課長

中学生の意見をカラー版で取り入れました。こちらも合わせてご意見いただければと思います。

原科会長

文字をもっと大きくして読みやすく。今のものは文字数が多いのでそこは少なくして、A4 サイズ2枚で見開きにしたらどうでしょう。写真など中学生の顔が見えるとよいですね。

矢板委員

冒頭に「私たちが目指す」と表現がありますが、この表現だと中学生というより葉山町が目指していると思ってしまう、アンケートを読み飛ばす人もいるかもしれません。葉山中・南郷中の全中学生にアンケートを取ったことが分かるような表現があった方がよいと思います。

原科会長

「若い人が目指す」や「次世代が目指す」など表現を変えた方がよいと思います。新しい案を出してみてください。

加藤委員

9ページの「くらし」に土壤汚染などの表現もあるので、防災と土地利用をここに含めるというのでよいのではないのでしょうか。環境のことなので、あまり防災を強くしない方向がよいと思います。

矢板委員

はやまの環境と環境基本計画の関係性が分かるようにしてください。あと、4ページの空白分のバランスを見直されたらよいと思います。

大屋主事

今のはやまの環境は、現行の基本計画の目標に対しての構成となっていますので、これから令和3年度のはやまの環境の実績を作るタイミングでは、改定される環境基本計画と整合性を取って作り変える必要があると思っています。

原科会長

議題3 その他についてですが、今後の流れはどうなりますでしょうか。

行谷課長

次回の日程は12月第3週か第4週の開催を予定しています。2点目ですが、今回審議いただいた内容をもとに、環境基本計画素案（案）を作成し、事前に委員の皆様へ送るようにしますのでご確認いただき、次回そちらの審議ができればと思っております。3点目は、本日の議事録ができましたらこちらも送らせていただきます。こちらの内容もご確認いただき、ご指摘事項がございましたら事務局までご連絡ください。

原科会長

本日はここまでとさせていただきます。ありがとうございました。